



REPORT #00

福津市在住 Sさんの住まい

流行や時代に 左右されない平屋の家

日本で昔から取り入れられている「和」の要素を入れることで、飽きのこない長く住み続ける家を実現



右、軒を伸ばして視線を低くし、あえて正面に窓を配置しない個性的な外観。玄関部分を引き込むことで立体的な造形を採用。／上、グレー×白でシンプルに仕上げられたリビング。／中、玄関の大きな地窓で明るい印象の土間スペース。／下、奥さまお気に入りのイエローのタイルはお部屋のアクセントに



お子さんの出産をきっかけに
始まったマイホームづくり

シックな黒い外壁と屋根に赤茶色の木肌が映えるS邸。玄関を開くと墨色が美しい和モダンな土間

玄関が設えられ、その向こうはS邸自慢のLDKが広がる。一方が

グレー、もう一方は白というツイ

ンカラーの塗り壁がおしゃれ。杉

の無垢材が勾配天井とフローリン

グに使用され、空間全体が木の温

もりに包まれている。

Sさんはご夫婦と2歳になる男の子の3人暮らし。お子さんの出産をきっかけに落ち着いた暮らしができる家づくりを考え始めたそう。「1年ほど条件に見合う土地を探していて、やっとここだ!と思える土地を見つけることができました。そこを管理していたのが長崎材木店だったんです。以前は家が近かったこともあり存在は知つていて、事務所や展示場の雰囲気が素敵だなと思っていました。だから迷うことなくすんなりと家づくりをお任せできました」。

**平家十立体感のある間取り
ご夫婦のごだわりが満載**

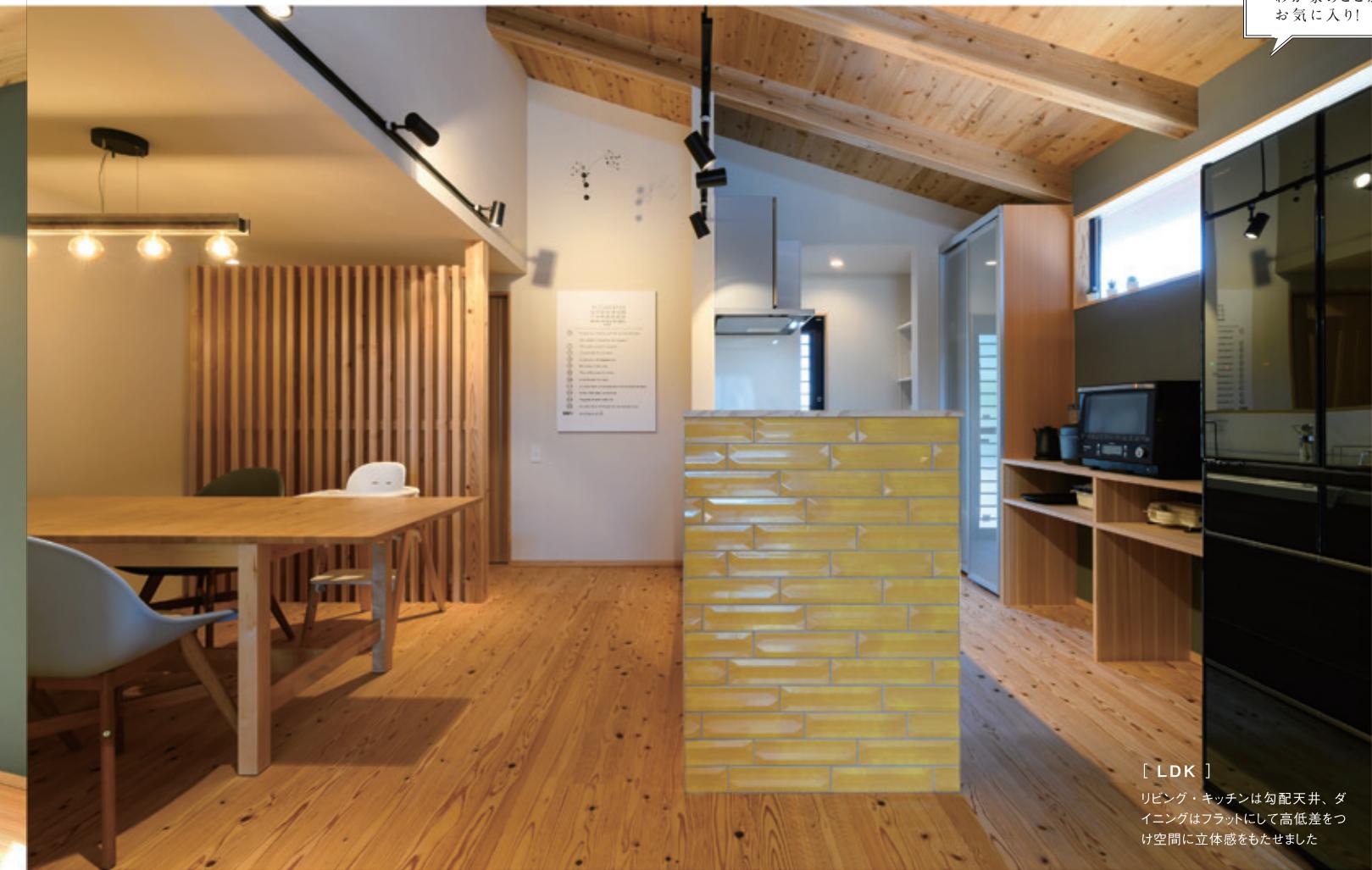
家づくりにあたってご夫婦が希望したのが、家っぽくない家づくり。平家を大前提に、一見するどお店や施設にも思える個性的な造りを取り入れたと言う。「平家というよりも、『平たい家』にしたかった」と家づくりをお任せできたんだ

そこで軒の出を深く取つて視線を低くし、正面に窓をつけないことでスッキリとした外観にしてくれました」。

併せてご主人が強いこだわりを見せたのが間取りだ。すべてをラツトにするのではなく、あえて凸をつけたメリハリのある空間を意識されたそう。「全体的にべつとした感じにしなくなかったので、LDKの天井はリビング側を勾配に、その逆にあたるダイニング側は



DJブースの壁は防音材を使用し、音漏れ対策もバッチリ



すべきポイント。とりわけそれを楽しんでいるのがご主人だ。家の一番奥にある扉を開けると、目に飛び込んでくるのはプロ顔負けのDJブース。実はご主人、以前はDJをされていたそうで、今でも自宅で音楽を流して楽しめているそう。壁には防音材を取り入れているので音対策もバッチりです。さらに家の前には人工芝を敷いたミニバターゴルフ場があり、休日には息子さんと一緒にゴルフの練習にも勤しんでいるそう。

「主人ったら、ほぼ毎日外でタバコを吸いながら家を眺めているんですよ。理想の家ができることがよっぽど嬉しいみたい」と奥さまもつっこり。分譲地に建つS邸の周囲には、総合建設業者である長崎木材店一級建築士事務所が建っている。見学に来られた方からも「あの家がいい!」と注目されているようだ。打ち合わせの際、して欲しいことはもちろん嫌なこともはつきりと伝えられたので、大満足の家ができたと思っています。設計の田代さんと信頼関係を築きながら家づくりを進められて本当に良かったです。

S邸は、生活はもちろん、趣味を満喫できる要素が満載な点も注目

DJに「ゴルフ」…

フラットにして高低差をつけたまま。さらにダイニングにはあえて壁を付けておこもり感が出るように。外観も玄関部分を引っ込みで凸凹にしてもらいました。和の要素をメインに、シンプルに仕上げたデザインもS邸の特徴。そこには、これから長く暮らしていくわが家に対するご夫婦の想いが込められています。「家を建てた時には最新の設備やデザインでも、長く住んでいくうちに時代遅れになるのは嫌でした。それなら最初から日本で昔から使われている要素を取り入れたい」と、設計の田代さんにお願いして一緒に考えていったんです。そのおかげで時代に左右されない家ができたと満足しています」とご主人が目を細める。



Company Profile

**長崎木材店
一級建築士事務所**

福岡県古賀市天神5-10-3
TEL 092-942-2745
<https://www.nagasakiizaimokuten.co.jp>

●詳しい情報はP000に掲載

